明治25年3月25日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社 2019

MAINICHI
毎日新聞
8月22日（木）
2019年（令和元年）
発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251　電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社

号外

履正社 初優勝

履正社	0	0	3	0	0	0	2	0	5
星稜	0	1	0	0	0	0	2	0	3

【履正社―星稜】優勝し喜ぶ履正社の選手たち＝森園道子撮影

第101回全国高校野球

主催 日本高校野球連盟・朝日新聞社
毎日新聞社後援　阪神甲子園球場特別協力

決　勝

4番井上 3ラン

星稜に5―3

第101回全国高校野球選手権大会（日本高校野球連盟、朝日新聞社主催、毎日新聞社後援、阪神甲子園球場特別協力）は最終日の22日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で決勝があり、履正社（大阪）が5―3で星稜（石川）を破り、春夏通じて初優勝を果たした。大阪勢として前回大会の大阪桐蔭に続く14回目の頂点。準優勝した第77回大会（1995年）以来の決勝進出の星稜は石川勢として初の甲子園制覇を逃し、北陸勢初の夏の全国制覇に届かなかった。

履正社は左腕・清水、星稜は右腕・奥川の両エースが先発。

星稜は二回、内山の左前打と犠打などで2死二塁とし、岡田の右中間適時二塁打で先制した。

履正社は三回2死後、連続四球で一、二塁とし、井上の今大会3本目の本塁打となる中越え3ランで逆転した。

星稜は三回に2死二塁、四回に2死一、二塁とそれぞれ好機を作ったが、後続を断たれた。

履正社は七回、清水と池田の安打で2死一、二塁としたが、後続が倒れて無得点。

星稜は七回1死二塁、山瀬の左中間適時二塁打で1点を返し、さらに2死一、二塁から知田の右前適時打で追い付いた。

履正社は八回1死三塁、野口の中前適時打で勝ち越し、なお2死二塁から途中出場の岩崎の左前適時打でこの回2点を挙げた。

履正社が清水―岩崎の継投で逃げ切った。

先発メンバー

履正社		星稜	
⑧	桃谷	海	林
④	池田	⑧	東松
⑤	小田深	⑦	有田
⑨	井上	⑤	知山
③	内倉	⑥	内高
⑦	西川	③	大本
②	野口	④	福田
⑥	野上	⑨	岡川
①	清水	①	奥瀬
		②	山